

陳情第80号	受理年月日	令和8年2月10日
付託委員会	都市ブランド教育委員会	
件名	門司弓道場の存続について	
要旨	<p>我々は、日本の武道の一つである弓道を愛し、門司区内において今後も弓道を続けたいと思っているが、北九州市公共施設マネジメント実行計画における大里地域のスポーツ施設統合計画案では、門司弓道場の移転が計画されていない。</p> <p>弓道は、自分の体力に合わせた弓を使い、老若男女、体格差を問わず心身を修練できる生涯スポーツと呼ぶにふさわしい。</p> <p>中高生から年長者までの弓道愛好者が、弓道練習を生活の中に取り入れ、健康づくりの場として利用するには、弓道場が居住地区の近くにあることが非常に重要である。特に高齢者にとって区内唯一の弓道場が廃止となると、他区まで通うことになり、継続するには、困難が伴う。東西に横長い北九州市で東に離れたところにある門司区の弓道場が廃止というのでは利便性を欠き、不公平感を拭えない。</p> <p>弓道が教えてくれるしつけや、慎み、和敬、克己、自己実現は、人との関わりを学ぶ上で大きな役割を内包しており、教育的効果が大きい。</p> <p>公益財団法人北九州市スポーツ協会が実施する弓道教室では、毎年中高生の受講希望者が多く、中学生の受講を認めているのは、市内では門司弓道場だけである。門司弓道場では、会員の協力による細やかな指導補助と安全教育の徹底、保護者の協力により、受け入れを実施している。中学生や、諸事情により弓道部に入れない高校生の受け皿となっている。</p> <p>大里地区には、門司大翔館高校弓道部があり、部員数の急増に施設が対応できていない現状があり、門司区内に道場があることで練習を支援することができる。</p> <p>生涯スポーツの推進のため、地域の弓道愛好家のつながりであるこのコミュニティーを失うことは、地域にとって大きな損失となる。</p> <p>よって、門司区内の弓道場の存続を切に願い、以下のとおり陳情する。</p>	

(続 く)

- 1 現在地にて、改修または新築すること。
- 2 新大里スポーツ施設に弓道場を併設すること。
- 3 旧小学校跡地等を利用し、門司区内の他の場所へ移転すること。